



2学期始業式

8月23日(火) 2学期始業式を新型コロナウイルス感染症防止のため放送により実施しました。

前田校長は式辞で、夏休み中の各クラブ活動の活躍を紹介するとともに、夏休みが計画通りに行かなかったと後悔している生徒は、気持ちを切り替えて『為せば成る』の気持ちで、とにかくポジティブに、前を向いて一つ一つ取り組んでもらいたいと述べました。また、新型コロナウイルス感染症の第7波がピークアウトしきれておらず予断が許されない状況でありながら、2学期は文化祭や体育祭、修学旅行などの学校行事がたくさんあり、準備を進めるなかで、感染症の関係で生徒の皆さんにはさまざまな困難が目の前に現れることも予想されます。こういう時だからこそ『疾風に勁草を知る』の言葉を贈り、『難局にぶつかったときにこそ、その人の真の強さを知る』という意味を伝え、「コロナ対応で悔やんだり、自暴自棄にならずに、一人ひとりが疾風に立ち向かうことを自覚して、自分の目標を見据え、実現できるようしっかりと準備し、自分の夢に向かって果敢にチャレンジし、諦めない、そんな向陽生であって欲しい。」と生徒にエールを送りました。

向陽文化祭を実施しました。『向陽大輪祭！ ～大輪の笑顔の花を咲かせよう～』

9月12日(月)、13日(火) 向陽文化祭を開催しました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症や熱中症への対策をしながら、3年ぶりに二日間で開催しました。開会式は、高校3年生、2年生が体育館に入場し、高校1年生と中学生は教室にてオンライン映像の視聴で参加しました。開会式では、前田校長の挨拶、文化祭実行委員長の挨拶、文化祭実行副委員長の諸注意の後、各クラスのCMショーを鑑賞しました。

その後は部門ごとの発表となり、舞台では各文化クラブの素晴らしい発表とともに、クラス発表でのダンスや演劇、有志の発表など、出演者も観客も楽しむ姿が見られました。3年生の模擬店では、調理・販売の場面で感染症対策を徹底するとともに、飲食の場面でも間隔を空けた食事スペースを新たに設置し、各店の自信作を味わっていました。展示では、各クラブ、クラスの見事な作品や訪れた生徒を楽しませるような工夫を凝らした催しなどそれぞれ素晴らしい発表がありました。

生徒の皆さんの心から楽しんでいる姿「大輪の笑顔の花が咲いた」二日間であったと思います。しっかり思い出に残った「向陽大輪祭」になったことでしょう。

また、これらの発表のために縁の下で支えてくれた文化祭実行委員会や生徒会執行部、各クラブの皆さん本当にありがとうございました。

